

せとうちちょう 議会だより

第142号

平成23年8月発行

発行／鹿児島県瀬戸内町議会 編集／議会報編集委員会 〒894-1592 鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋船津 23 番地



～長崎県対馬市（海上自衛隊対馬防備隊）にて調査を行う陸上自衛隊の誘致及び海上自衛隊の拡充に関する調査特別委員



～陸上自衛隊対馬警備隊にて～
（長崎県対馬市）

こんなことを決めました

第2回定例会は、6月17～22日までの6日間の日程で開かれ、補正予算議案3件、条例関係議案3件、契約議案1件、専決議案4件、人事同意議案1件、その他3件の計15件の議案を審議しました。(議決結果：可決14件、否決1件)

特に、町立中学校(加計呂麻島)の統合についての議案は、賛成少数により否決されました。(主な議案の要旨は次のとおりです。)

町立中学校(加計呂麻島)の統合

賛成者少数により否決

加計呂麻島にある6中学校を廃止し、平成24年4月1日をもって、1中学校に統合しようとするものです。議員より、統合中学校の学校経営案、通学の方法など統合準備委員会における検討事項の多くが決定していない。生徒会や部活動など生徒自身に係わる事項について生徒が納得する情報が少ない。また、情報不足、協議不足により保護者や地域の方々の合意形成がなされていないなかでの今回の議案提出は拙速すぎるなどの指摘があり、採決の結果、賛成者4名、反対者5名の賛成者少数(議長を除く)により否決されました。

飼い猫の適正な飼養及び管理に関する条例の制定

野生動物(アマミノクロウサギ等)への被害防止
町民の動物愛護の意識を高めるとともに、アマミノクロウサギ等の野生動物への被害を防止し、自然環境及び生態系の保全を図るために条例を制定するものです。主な内容は、登録手数料1匹につき500円、本年10月1日から施行するものです。

廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正

家庭ごみ(燃えるごみ)を有料化(9円→15円)に
ごみの排出抑制と減量化

を図るため、家庭ごみの燃えるごみ袋、大・1枚15円、小・1枚9円有料化にするもので、平成24年1月1日から施行するものです。

一般会計補正予算(第1号)

諸鈍地区に生ごみ処理施設を建設

特定離島ふるさとおこし推進事業費(加計呂麻島、請島、与路島の3島が対象)として、1億7792万2千円。

特定離島ふるさとおこし推進事業の主な内容は、諸鈍地区に生ごみ高速発酵処理施設967万円、農道整備(請阿室、秋徳、池地)2550万円、農業施設整備(諸鈍にビニールハウス)992万円、農産物集出荷施設(請阿室)2900万円、畜産振興施設整備(飼

料作物用機械購入)1649万円、環境保全対策(諸鈍)1360万円、観光物産宣伝対策679万円、港湾施設整備(諸数、伊子茂)2250万円、道路整備1850万円、デイゴ害虫駆除395万円などです。
また、防災無線施設(総合的防災情報伝達)で2億4350万円など。
総額4億6788万4千円を追加しました。

与路港改修工事

(1工区)契約

防波堤(沖)を実施するもので(株)町田建設と1億1644万5千円で契約しました。

固定資産評価員に法重矩氏(税務課長)を選任

一般質問

第2回定例会では、5名の議員が町政全般に亘り、議論を交わしました。一部を要約して、紹介いたします。

なお、一般質問の詳細については町立図書館にて「会議録」をご覧ください。



渡島芳臣議員

議員 町政運営について

房町政2期目に向けての思いをお伺いします。

町長 「住民参加のまちづくり」を基本理念に、公約

は取り組み可能なものから推進して参りたいと考えております。町長として、ふるさとに全力を尽くす覚悟であり、2期目の町政を担当するものとして、瀬戸内町の新たな発展と飛躍に向け町政運営に全力を傾注して参ります。

議員 高齢者の生きがい対策について

一．高齢者のいきがいづくりとして、どのような支援対策を行っているのか伺います。

町長 地域で生きがいを持つて暮らしていく為、高齢者無料乗車・乗船資格証を交付し、高齢者の健康保持

や生きがいづくりを支援していきたいと考えております。

議員 二．元気な高齢者に

介護施設等でボランティア活動をしてもらう、介護ボランティア制度導入の考えはないか伺います。

町長 介護ボランティア制度導入につきましては、施設側と協議をしながら検討して参ります。

議員 三．高齢者や障害者等に対する日常的な地域支

え合い体制づくり事業の活用状況を伺います。

町長 安心ネットワークづくりや認知症高齢者に対する正しい知識理解の普及啓発活動を行っております。

議員 四．老人クラブ等に

声かけをして、花壇コンクール等花の植栽により環境美化運動を進める考えはないか伺います。

町長 環境美化運動推進の助言をして参りたい。

議員 独身者の出会い交流の支援について

本町の独身者を対象に行政が支援して縁を取り持つ事は出来ないか伺います。

町長 地元の独身男女を対象とした出会い交流事業を実施する予定で準備を進め

ています。

議員 港湾施設整備について

一．諸数集落棧橋の手すりは、腐食して壊れており、非常に危険な状態であります。改修計画予定を伺います。

町長 実施に向けて準備を進めており、年度内完成を予定しております。

議員 二．節子集落船溜りは、数年たっても着工されない状況であります。この経緯と着手予定を伺います。

町長 平成21年度から地域振興推進事業にて要望中であり、さらに今年度はまちづくり戦略事業と併せて両面から要望しております。

●その他の質問（水産業の振興について、朝市の取り組みについて）



向野 忍議員

議員 町長の描く本町の将来像について

一、町長の描く本町の将来像を解りやすく具体的に示していただきたい。

町長 「町民一人ひとりが創り育む住民参加・人づくりのまち」を本町の将来像としております。

議員 一、「住民参加のまち」「町民の皆様方と力を合わせて」とあるが具体的な施策を伺います。

町長 地区コミュニティ職員、地域おこし協力隊、集落区長、集落役員そして集

落民の皆様方と力を合わせ、まずは防災マップの津波等における避難場所や避難ルート等の見直し作業を実施する予定であります。

議員 これまでの四年間の実績について

一、「四年前に約束したマニフェストは85%達成できた。」とされているが、何を基準に誰が、85%達成したと判断したのか。

町長 後援会から出てきた四年間のマニフェストの進捗率で私なりに判断しました。

議員 達成したものは何か、残りの15%とは何か。

町長 「奄美群島ブロードバンド基盤整備事業」、「桜公園整備」、「加計呂麻ハーブマラソン」、「小型焼却炉

設置」、「勝浦トンネル開通」、「魚醤の研究開発」、「クロマグロ養殖国際シンポジウムの開催」、「観光大使」、「ふるさと応援基金の設置」、「新集中改革プラン策定」、「経営健全化計画策定」等実施しました。

やり残しの政策は、公共下水道事業の平成23年度以降の事業着手へ順延している件であります。

議員 本町の生活保護率73%（県下ワースト）、失業率、人口推移の現実を見て、マニフェストは85%達成したとされるが、町民の生活が良くなっているとは見えな

い。町長の見解を伺います。

町長 これまでの四年間は、行財政改革、交流人口の増が基礎だったと思う。今回の公約の一番最初に地域経済・産業振興の活性化、そ

の中に具体的に雇用、若者定任が謳ってあります。

●その他の質問
マニフェストの七項目の具体的施策について



鎌田 愛人議員

議員 選挙公約（マニフェスト）について

一、自衛隊の誘致・拡充の推進について

①（仮称）自衛隊誘致・拡充推進協議会設立のための協議に入るべきでは。

②協議会への補助金、又は一般会計予算総務費から、必要経費を支出すべきでは。

町長 ①議会が終わると同

時に、その方向に進めなければいけないと思います。

②財政係と協議したい。

議員 二、防災体制について

①防災マップの高潮・津波危険地域、被害想定区域内に避難所を指定してあるが、専門的知識を含め、検証し、見直す必要があると思うが。
②学校の津波対策は万全か。

町長 ①地震、津波等のハザードマップの見直しを行わなければならないと思っています。

教育長 ②大震災の後、学校に対し、安全訓練の時の避難を想定した安全マップを作成するよう指示しています。

議員 三、環境問題について
項は何か。

①大島地区衛生組合加入への方向性は

②前回選挙で公約した、公共下水道の早期実現、今回は公約していないが、公約の見直し、一時凍結か。

町長 ①組合加盟の話合いがあるので、そこで加盟をお願いする。

②一時凍結になると思う。

議員 四、教育問題について

①文化ホールの建設規模について

②学校給食センターはウエットシステム(床がコンクリート)で食中毒の原因となる細菌が発生しやすい、危険性を抱えているが、いつまで放置しておくのか。

③加計呂麻の統合中学校、今の時点で決定している事

項は何か。

町長 ①今現在の公民館、庭、すべてを使った方がいいと思う。

②危険度を始めて聞いた、教育委員会からの報告を受けたい。

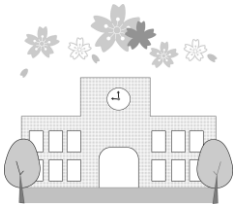
③場所と校名が決定している。一歩も二歩も前進している。

※その他の質問

●建設業の異業種参入について

●加計呂麻体験交流館建設について

●東日本大震災被災者受入れ体制について



池田啓一議員

議員 町政全般について

一、先般の選挙において町長は「創ろう住民参加の町」

「町民主体の政治」、「町民の声を聞き、町民の立場に立つて誠意誠意……」等と声を出されてましたが、具体的に

「町民と語る会」等を開催する予定はあるのか。また、他に考えがありましたらお聞かせ下さい。

町長 共生・協働によるまちづくりを目指して、地区コミュニティ担当職員を配置し、集落の抱える課題解決へ向け取り組んでいるところですが、「町民と語る会」

は、4年前に全集落を回りましたので、今回は、その計画は組んでおりません。

議員 時が変わればニーズも変わります。課題解決や町の振興を図るためにも、各種総会等に参加して町民の声を聞き、協議していただきたい。

議員 二、各種産業の振興、活性化について、今後の取り組みをお聞かせ下さい。

①観光について

②農林畜産について

町長 ①福岡へ奄美便の就航により近くなった奄美をPRするため、北九州圏内

の方の集客を目指しております。また、体験メニューの商品化に向け準備を進めて参ります。

②園芸作物は、重点品目

の計画的規模拡大を主に施設園芸の充実を図り、生産額増大ができるように推進を行って参ります。

林業振興として、シイタケの生産拡大に努め、人工ホダ場の導入と安定出荷のシイタケ乾燥機の導入を図っていきます。

畜産については、作業の省力化機械を導入して、飼養頭数の増頭を推進し、飼養管理技術の向上や人工授精師の育成と技術の向上を図ります。

議員 三、マニフェストの「新加計呂麻クリンセンター」として

町長 ストックマネジメント(施設の長寿命化)導入の方法を駆使して延命措置を講じつつ、本島側の衛生センターの建設改良も含めた瀬戸内町循環型社会形成

推進地域計画の中で、施設整備を検討していきたいと考えております。

議員 教育について

加計呂麻中学校について三月の議会では、「児童、生徒、保護者、住民の意見を取り入れる手だてを図って参りたい。」と答弁されましたが、その後をお聞かせ下さい。また、年次の施設整備の計画は？

教委総務課長 児童生徒の推移や状況を見ながら、今後、検討・協議の話が出てくると思います。

議員 まだ何も決まっていな。形が見えない状態での統合は不安がある。議決はまだ早い。総合グラウンド等も含め、加計呂麻振興のためにも前向きに進めて頂きたい。



岡田弘通議員

議員 防災対策について

本町の防災計画を抜本的に見直すべきと思うが、町長の考えを示していただきたい。

町長 東日本大震災の教訓を活かし、今後、地震・津波を想定した避難場所の追加作業を行いたいと考えております。具体的な見直し方法としては、コミュニティ職員と各集落の自主防災組織との協議により、各集落における最適な避難場所の選定を行い、既存の防災マップに上書きする作業を行いたいと考えております。

議員 環境対策について

ゴミの分別種類を増やすことは考えていないのか。また、合併浄化槽への町費の上乗せについて考えていないのか町長の考えをお伺いします。

町長 ゴミの分別種類を増やす計画としては、排出量を見極めながら新たにびん類の分別（無色・茶色・その他）を予定しております。合併浄化槽整備への単独補助につきましては、下水道整備も含めた生活排水基本計画の精査と見直しの中で検討していきたいと考えております。

議員 加計呂麻地域の活性化について

加計呂麻島体験交流館を建設推進することのあります。具体的な内容を示

していただきたい。

町長 諸鈍集落に建設を予定しております。加計呂麻島の観光の拠点施設として、本町の自然・文化・観光等の情報の発信、また地元の人々とのふれあいの場や地元発信の着地型観光を旨とした様々な体験のできる施設を建設するものであります。現在、建設に向けた検討委員会の設置の準備を進めており、その中でいろいろと意見を出し合っており、いただき、実施して参りたいと考えております。

議員 創ろう住民参加のまちづくりについて

町長 昨年10月より、共生・協働によるまちづくり

を目標して、各地区に行政経験豊かな職員を地区コミュニティ担当職員として配置し、集落の抱える様々な課題に対して助言や内容によって、各課局との連携を図りながら課題解決へ向け取り組んでいるところであり。また、本年度より「地域おこし協力隊」の隊員を2名任命し活動を始めたところであり、6月15日には、瀬相集会所において各集落区長への活動内容の説明会を開催するなど、地域おこしや町民との語る会等を実施し、各集落の課題解決に向けて共生・協働（自助・共助・公助）の精神を町民に啓発し、地区コミュニティ再生へ向けての意識を醸成することにより「創ろう住民参加人づくりのまち」の実現に向けて取り組んで参ります。

委員会活動

第2回定例会では、総務経済常任委員会（向野 忍委員長）、文教厚生常任委員会（鎌田 愛人委員長）、陸上自衛隊の誘致及び海上自衛隊の拡充に関する調査特別委員会（岡田 弘通委員長）に付託されていた案件に対しての委員長報告がなされました。

総務経済常任委員会

『阿鉄集落内側溝の整備
についての陳情』を採択

阿鉄集落より出されてい
ました陳情の現地調査を行
うとともに、今後の取り組
みについて町建設課より説
明を受けました。

課長より、排水改善対策
「流路工」として整備が図
れないのか、県と協議した
が、県としては、砂防ダム
を造らないで「流路工」整
備はできない。とのことだ
であったので、各種交付金事
業または町単独事業等に対
応を検討し、早期実現を図
っていきたい。との説明が
ありました。

以上の調査を踏まえた結
果、全会一致で採択すべき
ものと決定しました。

文教厚生常任委員会

『腎移植手術を受ける患
者さんに対する旅費・交通
費補助を求める陳情』を採
択

瀬戸内町腎臓病患者家族
会より提出されていました
陳情の審査を町保健福祉課
長及び同補佐出席のもと開
催しました。

町内の腎臓疾患による人
工透析患者は、平成23年6
月現在で23名。内国保被保
険者は9名で1人当りの医
療費は約600万円となり、
国保会計への影響額は約5
400万円とのことであり
ました。委員からは、「他の
臓器疾患と違い、常に人工
透析をしなければならな
い」、「移植手術により病氣
が回復することで、患者さ

んの肉体的、精神的負担が
軽減される」、「移植手術を
することにより、人工透析
の必要がなくなれば国保会
計の医療費抑制につなが
る」等の意見が出されまし
た。

以上の審査を踏まえた結
果、全会一致で採択すべき
ものと決定しました。

陸上自衛隊の誘致 及び海上自衛隊の 拡充に関する調査 特別委員会

『陸上自衛隊の誘致及び海
上自衛隊の拡充に関する調
査』について中間報告

本特別委員会では、自衛
隊の誘致等についての調査
を海上自衛隊奄美基地分遣
隊と議会が調査活動をして
いる長崎県対馬市の調査を
行いました。

最初に、海上自衛隊奄美
基地分遣隊を調査しました。
概要としては、

① 任務

○基地の警備及び維持管
理、○艦艇及び航空機に対
する支援、○警備上必要な
調査、○海上における危険
物の処理、○情報本部喜界
島通信所に対する業務支援

② 組織

佐世保地方隊の奄美基地
として派遣

③ 編成

分遣隊長の下、総務科、
警備科、補給科、通信所で
編成されていました。

次に対馬市役所にて調査
を行いました。

対馬市は、陸海空の自衛
隊が駐屯している国境の島
である。平成16年3月1日
に島全体の6町（厳原町、
美津島町、豊玉町、峰町、
上県町、上対馬町）が一つ
になって誕生し、日本海の



対馬市役所にて調査を行う特別委員

西に浮かぶ南北82km、東西18kmの細長い島で、面積の89%が山林で急峻な山々が連なっており海岸まで続いている島であります。

対馬市議会では、島民の安全安心の生活と経済を支えているのが、現在駐屯している700人余の自衛隊員であることから、自衛隊の誘致増強が「国境・離島」の防衛と活性化が図られるものとして、特別委員会を設置し、常に市長部局と一体となって協議研究を行い、県選出国會議員、関係国會議員、防衛省等に陳情活動を行っており、今後粘り強く活動を行っていくとのことでありました。

次に、陸上自衛隊対馬警備隊を調査しました。

概要としては、

①位置

地理的には、朝鮮半島から50km、九州から120kmにある。基地の広さは縦横170m、100mで全国で2番目に小さい駐屯地である。

②任務

有事の際の即応体制と災害派遣、給水支援等

③組織・編成

本部中隊、普通科中隊1個、後方支援隊の部隊であり、レンジャー資格者を多く擁し、約400名の隊員が常駐している。

隊員は、ボランティア活動・各種行事へ積極的に参加・協力を行っている。また、島民の生活を守るという強い信念を持って昼夜任務に精励しているとのことでありました。



陸上自衛隊対馬警備隊にて調査を行う特別委員

一方、経済面においても隊員の人件費等も含め、年間約22億円の投資をしており、地元経済と雇用及び学校存続にも貢献しているとのことでありました。

次に、海上自衛隊対馬防備隊を調査しました。

概要としては、

①任務

対馬近海を航行する船舶の監視を行っている。

②組織・編成

佐世保地方隊に属し、総務科、補給科、防備科、通信所を有し、約50名の隊員が常駐している。

当隊は、海上自衛隊でありながら艦船もなく、10トン程度の警備艇1隻を保有

し、警備・警戒が主な任務であるとのことでした。

委員たちは、島民と自衛隊の強い信頼関係が築かれている。自衛隊により救急医療・災害に対する迅速な対応が行われている。また、自衛隊による経済効果の大きさと学校存続及び地元雇用にも貢献しているなどの効果を強く感じました。

以上の調査を踏まえ、次の意見を町当局へ提出しました。

『陸上自衛隊の誘致及び海上自衛隊の拡充に関する調査』意見

1. 町民が一体となって、自衛隊誘致等の活動を行う組織づくりを早急に取り組まれない。
2. 国・県等への陳情活動の予算措置を講じられたい。
3. 防衛に関する調査・研究等の予算措置を講じられたい。

編集後記

▼奄美らしい本格的な夏日が続くなか、房克臣町長が再選され、房町政二期目がスタート致しました。

▼私たち議会は、「陸上自衛隊の誘致及び海上自衛隊の拡充」に関する調査特別委員会の中間報告を行い、今後更なる調査・陳情活動を展開していくこととするものであります。

▼「議会だより」は、町民の皆様には議会を知っていたく情報源のひとつですので、その発行の在り方、中身についても町民の皆様のご意見等を頂きながら、より良いものにしていきたいと考えております。

まだまだ暑い日が続きますので、健康には留意され、共に頑張ってくださいませう(林)